

ガンバレ、消防音楽隊！（その８０）

消防組織法が、昭和２３年３月７日に施行され、内務大臣の指揮監督下に警察権力の範囲に属していた消防を警察制度より分離独立させ、民主化及び地方分権の趣旨に従い、すべての市町村の責任において運営管理されることとなりました。

この自治体消防として発足した日を記念して、毎年３月７日を「消防記念日」として定められました。

これを受けて、柏原市・羽曳野市・藤井寺市及び消防組合では、合同で消防記念日表彰式典を開催し、災害時における防災活動、防災思想の普及、防災体制の整備等に関し顕著な成績をあげ、または功績があった市民の皆様、事業所の方々、並びに消防団員、消防職員を表彰しています。

今年は３月５日に消防記念日表彰式が行われました。

昨年８月より活動休止中ではありますが、その時点で、既に規定在籍年数を超過していましたので、私を含め１１名の隊員が音楽隊在籍２０年、２名が在籍１０年の功績賞を受賞致しました。

さて、柏原羽曳野藤井寺消防組合消防音楽隊ですが、２月１５日、組合議会が開催され、議会冒頭、管理者である柏原市長から、「厳しい財政状況の下、苦渋の選択として昨年８月より消防音楽隊を休止いたしました。」と挨拶がありました。

議会に先立ち、１月には３市の市長と担当助役が一堂に会し、新年度予算の理事者査定が行われました。

席上、今後の消防音楽隊のあり方が議論され、

- ① 廃止にはしない。しかし、財政状況が回復するまでの間、活動は休止する事。
- ② 休止中、公務として演奏は命じない事。
- ③ 今まで投入した財、築いた演奏力が、休止中に無くなっていくのは、あまりにも忍びない。休止期間中の活動は、隊員の自主性に任せる事となるが、演奏技術維持の活動を行うのであれば若干の助成金を交付する事。

と、決定されました。

この決定には、それぞれの市長の、大変熱心な説明、廃止反対の宣言、更に、助成方法の提案が、それぞれ大きく影響しました。

「今は、消防音楽隊を持つだけの余裕がないんや。」と、静かに語った柏原市長の最後の一言が、とても印象的でした。

新年度予算は、議会で可決されました。

活動環境は、公務としての音楽隊ではありません。しかし、施設や備品は使用しますので、同好者が任意に集うクラブとも全く違います。

本格的再開までの間の演奏技術の継承維持を目的として行う活動です。

具体的な内容や出演に関しては、参加者を中心にして、周囲の意向を考慮の上、決めていく事になると思われます。

このような条件では従前とは相当異なる形態であります。

決して、万全の体制はありませんし、望んだスタイルとは程遠い状態です。

でもね、

もしかしたら、また、皆さんの前で演奏出来るかも知れないのです。

しばらくの間は、笑われながらの演奏になるかも知れません。

でも、

また、いつか、演奏を聞いてくれた方が笑顔で答えてくれる、

もしかしたら、拍手してもらえる、そんな日が戻ってくるかも知れません。

「お前たちのやってきた事は無駄ではない。」と

言ってもらえる日が来るかも知れません。

「廃止」を免れる事ができ、更に封印されていた活動を再び行える事を、私自身は嬉しく思い、感謝しております。

ここに至るまでに、大勢の方々にご心配をおかけし、たくさんのご支援とご協力を頂戴しました。「皆さんのサポート」が無ければ、「**即刻廃止**」となっていたと思います。

なんとお礼を申し上げればよいのか・・・、言葉に表せない気持ちで胸がいっぱいです。本当に、本当に、ありがとうございます。

「風前の灯」である事には変わりはありませんので、まだまだ安心出来る状態ではありませんが、ご支援下さった皆さんに恩返しを出来るまでガンバって参ります。それが、私に出来る唯一の恩返しとっております。

現在、元隊員たちに参加意思を確認中です。

一旦途切れた気持ちを、今再び奮い起こして、新条件の下で何人参加するか、そしてどんな活動が出来るのか、今は全く分かりません。

演奏をしても、当分、曲にもならないと思います。

人数により、楽器編成や、使用楽譜も再考が必要になるでしょう。

このHPが更新される頃には、大半が把握出来ていると思います。

何事にも少し不器用な人間達が、

自分たちの意思で、再び集います！

(たぶん来てくれると思うんですけど、(-_-;))

次回「どうなる？不安テンコ盛りの 2006 年 4 月」です。

P.S. ホンマにどうなるか、さっぱり分かりませんが、
でも、もう暫くは連載続きそうですよ(^^)

ガンバレ、消防音楽隊！（その81）

春は、区切りとなる、「別れ」と、「出会い」の季節ですね。
みなさんは、どのような「4月」を送られていらっしゃるのでしょうか？

進学、就職、人事異動などで、新しい環境になかなか慣れない事も、或いは望みが叶わない事もあります。

でも、ドンマイ、ドンマイ。

「うまく行かない、辛い事のほうが多く、失敗に終わるのが当たり前。

TAKE IT EASY !」と開き直りませんか？

少々つまずいたって、遠回りしたって、どうって事ないですよ。

私自身、**“walking tall”**と言う事を常に心がけています。

「逆境にあっても、胸を張って堂々と歩く」って意味です。

（なかなか出来ない事だからこそ、あえてそう心がけています。そんな事考えているから、「あいつは生意気だ、生意気だ！」って言われるんでしょうか？
（^^ゞ）

でも、あきらめず希望を持って、うつむかず胸を張り、シッカリ目を見開いて、最後まで、真っ直ぐ前を向いて歩いていたいと思っています。

（姿勢良く「モデル歩き」みたいに！ってチョット違うか？）

さて、消防音楽隊ですが、新条件での消防音楽隊への参加意思の確認のために、この「ガンバレ・・・」と同じ内容の説明文を、庁内メールで元隊員に送りました。

「ガンバレ・・・」と違うのは、「でもね、」以下の後半の部分が無い代わりに、「参加しますか？参加しませんか？」という質問が最後に付いています。（「ガンバレ、消防音楽隊！（その80）」3月20日更新分参照）

少々大げさですが、これからの厳しい条件下でも継続する「各自の決意」が必要と感じ、自由意志で回答出来る様に、可能な限り最低限の情報に留めました。

結果、22名の隊員が「参加意向」と返答してくれました。私の予想していた2倍の人数にビックリです！（☆v☆）

もう、演奏が出来るかどうかの人数になると思っておりましたから、譜面の買い替えと、曲のイチからの練習を覚悟していました。

しかも、前記のように、全く調整をしなかったのですが、各楽器はとても均等のとれた編成になっていて、私はまたビックリ！！(☆v☆)(☆v☆)

こんだけ揃っていれば、今までの曲目も含め、どうにか「吹奏楽の演奏」に挑戦出来るかも知れません。

(実際にやってみないと分かりませんが・・・)

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防音楽隊は、音楽超ド素人の集団でした。

「音楽は大っ嫌いや！」と言い放つ者もありました。

(実際、楽器演奏とか譜面が嫌いなのでしょうね。憶測ですが、義務教育での音楽教育に起因すると思います。私も「音楽の授業」は不可解のテンコ盛りでした。「ロマン派」とか、「印象派」とか、「嬰」とか、「変」とかって何??? って感じ(-_-;) 「音」を「楽しむ」なんで程遠いと記憶しています。)

一方、ご存知のように、社会の中には「損得勘定」だけを重視する人間で溢れています。

消防音楽隊は(20年間の度重なる隊員入れ替えを経て)とても「損得勘定」などでは説明のつけられない『思い』で行動するような人間の集まりになっていた様です。

今は、なかなか言葉では説明が難しい『音楽隊員である事の誇り』や、『音楽隊の活動の究極の意味』を十分に理解してくれています。

その熱意だけは負けないと自負しています。

正直、あえて別の言い方をすれば「超偏屈者」なのかも知れません。

今回不参加とした隊員にも、それぞれ個人個人の事情があります。「職務命令」でない限りそれは当然の事。しかし、不参加と回答したうち約10名は完全再開時には復帰したいと言ってくれています。

自分の時間を犠牲にして、笑われながら、からかわれながらも、20年間一生懸命打ち込んできた「思い」は簡単には抜けません。

この一年間の出来事は、むしろ、その「思い」を強くさせる要因になっています。言葉では理解出来ても、感情では理解出来ない、釈然とせず複雑な気持ちに揺れ動いて居る様です。

「演奏によって火災がどれだけ減ったのか？」と、数値測定不可能な問答が作り出すモノを大切にしている方々も居られます。それも大切な感覚であると思います。しかし違う次元で、「少しでも被害に遭われる方が減れば。」と言う行動も極めて大切だと思います。

もちろん、対費用効果を無視するものではありません。

単純に、短絡的に、対費用効果の尺度に馴染まない分野に存在する活動もあ

ると私は思っています。

さてさて、メンバーが決まれば、次はどんな活動が出来るのかを相談しなきゃ。なんだか、軌道に乗ってからも気が抜けなくなりそうな、とっても楽しい日々(?)が待っている予感がします。

いずれにせよ、極めて厳しい逆風での船出となりますが、完全再開まで息切れしないよう肩の力抜いて、細く長く、出来る範囲の事を行けば良いと自分自身は思っています。

``walking tall''を心がけながらね (^o^)y





2005・6・5

藤井寺球場で行われた藤井寺市民フェスタにて
寺田カホちゃんから頂いた「花束」
今も音楽隊練習室に飾っています。

ガンバレ、消防音楽隊！（その８２）

☆ 音楽隊の練習室は、車庫棟の２階にあります。

防音設備を備える経費を節減する為にも、本部庁舎とは別棟にしたのです。

ハッキリした方針が出された今はもうそんな話はないのですが、昨年８月以降、音楽隊休止中に、音楽隊練習室の一部を倉庫代わりに使用する話が何度かささやかれていました。

その度に抵抗してなんとか死守してきた訳です。

ある日、外出から戻って来て車から降りると、微かにラッパの音がします。そ〜っと（なぜか、こういう場合、「そ〜っと」になりませんか？(^_^)

２階の音楽隊練習室に向かいます。

しばらく扉の前で聴いてみます。

久しぶりに練習室に響く楽器の音色。

今まで、いろんな事がここでありました。

８ヶ月間、窒息しそうになっていた練習室全体が、一気に息を吹き返した様
に感じます。

この場所にはやはり楽器の音がよく似合います。

重く澱んでいた「空気」が動き出したのが明らかに感じ取られます。

扉開けると、トランペットの隊員が１人で練習をしていました。

楽器を持ったまま暫く話をしたのですが、彼なりの音楽隊に対する不安や思
いを聞く事が出来ました。

音楽隊を休止していた間、皆、それぞれ色々思い悩み、そして、これからの
新システムでの音楽隊に不安を感じているのです。

階段を下りながら、再び、やはりこの場所には楽器の音がよく似合うと思
いました。

彼が練習を再開しました音が聞こえます。

世間から見れば、大して上手くないかも知れません。

けど、私には、とても素直な音に聞こえました。

よーし、がんばっぞ——。

o(^o^)o

隊員が集まる日が決まりました。

次回、「練習再開です。」

ガンバレ、消防音楽隊！（その83）

☆☆☆

「梅雨の走り」と言われる雨が降る5月の土曜日。

昨年8月以来、新システム以降初めてとなる消防音楽隊の練習を行いました。

9時30分、練習場に着くと、久々に楽器の音が聞こえてきます。

22名の隊員のうち、その日の勤務に当たっている隊員以外の15名が集合しました。（ひっさしぶり〜♡ やあやあo(^-^o)(ノ^-)ノやあやあ♪）

皆、自分の意思で参加したからでしょうか、見ててもとても眩しく、清々しい表情、いい顔をしています。（よっ、男前！ヒュ〜ヒュ〜♪）

練習室全体が生き返ったように感じます。

さてさて、まずは、

「楽器は異常なく動くか？」

各々で**神妙**な面持ちで確認します。

「大丈夫でした。」

「問題ナシで〜す。」

「手入れだけはしといたから平気やったわー。」

の声にひとまず安心。（ホッ(〜o〜)）

次は、

「どれだけ**ヘタケツ**になっているか？」

これは全員にとって**最大の関心事！**（ン〜ン、ドキドキ。）

ズタボロになっているか、まだなんとか保たれているのか、不安と少々の期待が交差します。

全員が他人事のように、ほとんど**好奇心**です・・・(^-^;

「なんか（曲を）合わせてみようや。」

誰からでもなく**自然に出る声**。

再開の初めを飾るのは、やはり、休止期間に入る最後の最後に、自分たちの意思で演奏した曲、「風になりたい」。

その夏の日、依頼されていた演奏内容が全て終わった後に、全員揃って演

奏出来る最後の機会に、悔しい気持ち、出来る限り頑張ってきた20年間の思いを込めて、音色や格好も気にせず、思いつ切り演奏した最後の曲です。

今は隊員の人数が三分の一の人数が音楽隊を去り、今日は仕事で来れない者が7名居て、15人だけの演奏です。

それを、**新たなスタート**に向けて、少し忘れていた所もあって恐る恐る、でも再開の嬉しさを感じながら、最初に演奏しました。

全く誰も居ないパートの音が抜けてしまい、スカスカの演奏です。とても上手とは言えません。

演奏し終わっての第一声は、

「止まらずに、吹けたなあ〜。」

「あと半年ぐらい休止しても大丈夫かもなあ〜。」

憎まれ口を叩くのは、全く変わっていませんが、皆、どこか嬉しそう。

(こんな言葉でしか表現が出来ない不器用者達なののでしょうか。)

「次はどうする？」

「なんでもいいからやろうや！」との答え。

無謀にも「パイレーツ・オブ・ザ・カリビアン」に挑戦です。

(「パイレーツ・オブ・ザ・カリビアン デッドマンズ・チェスト」がもうすぐ公開ですね〜。ジョニー・デップ演じる、ちょっとネジの緩いキャプテン・ジャック・スパローが楽しみです。二枚目オーランド・ブルームや綺麗なキーラ・ナイトレイ。3作目も楽しみにしております。お願い！テーマ曲は変わっていませんように(^◇^))

曲は始まりましたが、いきなり、ソロを担当する楽器が居ません。

居ないパートを歌いながら指揮を振る私。

大きな声を出して歌ったからか、気持ちが入ってしまったのか、一生懸命にこの曲を練習していた頃の事が**フラッシュ**のように浮かんで消えます。

急に胸が熱くなる私。おっと**危ない、危ない**。指揮しながら、深呼吸して落ち着かせます。

1回止まったものの、なんとか終了。

「アカンなあー、忘れてるなあ。」

「もう口がダルくなった〜。」

「もう終了の予定時間やけど、終わる？」と私。

「もう一曲しよう！」

なんとも**ポジティブ**。o(^o^)

再出発に引っ掛けた訳でもないでしょうが、「錨を上げて」を演奏しました。

パレードでも長年使っていたこの曲は、さすがに暗記しているので、危なげなく終了。

「今日はこの辺で許といたろう！」

「結構、憶えてるもんやなあ。」
(やはり憎まれ口だけは上級者です。)

9時から翌朝9時までの2交代制の勤務と、平日勤務が6ヶ所に分かれて働いています。こんな勤務パターンに分かれた隊員が、職務以外で参集できる方法はありませんので、全員が集う事は、不可能です。

90%カットされた予算で、どうやって行くかも見通しが付きません。

不安材料テンコ盛りの再スタートです。

そんな事も全部分かってて参加してくれた者達。

その気持ちが嬉しくて、このメンバーならやって行けそうな気になります。

(私も相当単純細胞。)

力まず、無理せず、出来る事をして行けば良いと思います。

これから先、お話出来るようなエピソードがあるかどうか・・・それも心配だったりしてます(+o+)

ガンバレ、消防音楽隊！（その84）

もう7月も後半かあ、なんて思いながら
の～んきに、キラキラ星☆彗を(^_^)見ている
ふと気付きました。



祝ガンバレ、消防音楽隊！連載7年達成！！



(^0_0^)(^o^)(~::~)(☆v☆)(*^*) (・_・)v(^o^;)(°▽°)/o(^o^)(^-*
(^<)(._.*)(@▽@) (/;)\$^.^\$(^o^)(^J)(^v^)(^▽^)ノ!!
♡やあやあo(^-^o)(ノ^-^)/やあやあ♪

この「ガンバレ・・・」を書き出してもう7年なのですね～。

「人の細胞は7年間で全て入れ替わる。」らしいのですが、7年間で自分は何か変わったのかなあ？

「戻れるとしたら、いくつの時に戻りたい？」と訊かれて答える年代が、その人の中で幸せと感じている時代であると聞いた事があります。

一方、クローン技術の中で常に問題となるのが、「クローン人間」ですね。

今までのSF作品（このSFって表現も寒いですよ、今はなんて言うのがシックリくるのでしょうか？誰か教えて下さい(>o<))の影響でしょうか「クローン人間」というと、

「自分と全く同じ人間」というイメージです。

理論上では全ての組織に分化する全能性を保ちつつ、ほぼ無限に増殖させる事が出来、再生医療への応用に注目されるES細胞〔胚性幹細胞：はいせいかんさいぼう Embryonic Stem Cell；ES細胞〕なんかの話に触れると、

突然自分の前に、姿、形が全く同じ自分が

「ヤァッ！（°▽°）/ 今日から交代だよ。」

なんて感じで現れて来そうで、マンガチックな世界を完全に刷り込まれてしまっている自分を認識してしまいます。

しかし、「人間」は「人物」に成るまでに、先天的要素に比べ、後天的要素が遥かに大きく作用すると思われまます。

自分の人間性を形成する時代をもリセットして自己否定してしまう事も可能となると、さて、皆さんはいくつの時に戻りたいですか？

リセット出来るとしたら、何歳から始めたいでしょうか？

残したい部分だけを選んでリセット出来れば嬉しいんだけど、そうは巧くは出来てま

せんものね～。

忘れたい事柄だけ消しゴムで消せたらどんなに気が楽で楽しい日々を過ごせるようになるか、なんて有り得もしない事を真剣に願ったりしてしまいます。

これも SF でしょうか(^-^;

「消しゴム」も今は「DELETE」って言った方が馴染みますね。

なんともアナログな私です。やっぱり変わってないや。

そう言えば、いくらデジタル化が進んでも、それはツールの問題であり、ツール以上の存在ではない事を忘れてはいけないと思っています。

デジタルを創造したのも、駆使するのも、アナログ回路の生物代表である人間です。

人間の表現である「文化・芸術」の分野では、やはり人間が主人公。人間の醜さ、儂さ、素晴らしさ等をモチベーターに進んできました。

もちろん文学も芸術だと思っています。

でも、しかし、**But**・・・、経費削減で必ず持ち上がるのは文化・芸術の縮小ですね。

実際に経費が係りますし、本体の「体力」が低下すれば、経営路線の転換を図るのも当然の事です。

しかし、実際には多くの経営者が「経営には芸術感覚が非常に大切で、文化育成は大変重要。」と話すのはとても興味を惹かれます。

もしかすると、病んだ日本の現状を癒しながら治療出来るのは、文化・芸術なのかも知れません。

今回、「ガンバレ、消防音楽隊！連載7年達成！！」を出来たのは、これを読んでくださっている、消防音楽隊を応援して下さった皆さんの支えがあったからです。

月並みな言葉ですが、心から感謝致しております。

ありがとうございます。

そんな事しか言えないのかよ！

なんて思われるかも知れませんが、なんの飾りも要りません。

「ありがとう」が全ての気持ちです。

皆さん「ありがとう」

さてさて、結局、この7年間で、特に成長していない自分に逆に驚いたりしていますが、(本当に成長の無い奴です(>_<))

でも、消防音楽隊を取り巻く状況は激変してしまいました。

なかでも、大阪府内の消防音楽隊は、富田林市、東大阪市、枚方寝屋川の廃止、我々柏羽藤の休止に加え、

新聞報道でご存知のとおり、平成18年度(平成19年3月末)を持って35年の伝統を持つ大阪市消防音楽隊も廃止が決定しているようです。

全国の専任消防音楽隊の中で始めて廃止する事になった大阪市消防音楽隊は、自隊の置かれた状況とともに、今後の影響に関しても憂慮されているようです。

今週末（実は今日は既に7月20日。必死に書いております(^-^;)
の7月22日（土）1時より大阪国際交流センターで行われます

「2006年消防フェスティバル第21回大阪の消防大賞発表会」で、
毎年恒例の大阪府下消防音楽隊の合同演奏がありますが、
大阪市消防音楽隊と合同演奏はこれが最後になってしまいます。


柏羽藤消防音楽隊は公式活動休止中ですので、演奏には出る事は出来ませんが、
色んな思い出が詰まった合同演奏ですので、見に行こうと思っています。
その様子は、またここでご報告出来ると思います。

ガンバレ、消防音楽隊！ 第85話

行って参りました。

2006消防フェスティバル 第21回「大阪の消防大賞」表彰式。

毎年この時期に行われているのですが、毎年、ジツトリとか、しとしと雨とか、湿度が高くって、不快指数上がりっぱなし。まー、時期が時期なので、スカッと爽やかっなのは所詮無理っす。

んでもって、今年はカンカン照り 

とにかく暑いっ！

ガンガン暑いっ！！

ジリジリ暑いっ！！！！

暑いったら暑いっ！！！！

(これこれ、字数を稼ぐんじゃない (。)\バシッ☆)

日向は、「痛い暑い」って感じですよ。

もう既にこれまでの「暑さ」じゃないですよ〜。

特に大阪は、ムワッと暑いと思います。

大阪では「クマゼミ」ばかりになってしまったと聞き、温暖化で生態系も変わりつつある事が分かります。

動植物は即生死に関わるので敏感に反応しているのでしょう。

海外から日本に入った生き物がドンドン繁殖して在来種を淘汰する日が来るのかな。

熱帯に住んでいるような大きな昆虫が大阪にも出現するのでしょうか？って書いてて

「巨大なゴキブリ」を想像しちゃいました。

ウ〜、考えるだけでも寒気がするー、チキン肌になりそー、とつてもギモヂワルイ(>_<)

(気持ち悪い事書くんじゃない！ (。)\バシッ☆\バシッ☆)

さて、

2006消防フェスティバル 第21回「大阪の消防大賞」表彰式の第1部は「ガンバレ・・・」でもお馴染み大阪府下消防音楽隊合同演奏会です。

1曲目は、ジョー・ザビヌル作曲、ウェザーリポートやマンハッタントランスファーで超有名な「バードランド」です。

「BIRDLAND」って言う言葉の響きも好きですし、個人的には聴くのも演奏するのもメチャメチャ好きな曲です。

いろんなプレーヤーが演奏しているので聴き比べるのも楽しいですよ。

(お、おー、これは(☆☆)って言うゴッキゲンな演奏もあれば、オイオイ(-_-)って言う演奏もありますけど。)

一方、自分達で演奏するのは、なかなか「ノリ♪」を出すのが難しく、難易度が高い曲

でもあるのです。

大阪市消防音楽隊ファイヤーフェニックスの演技もあり、華々しいオープニングです。


2曲目は、J. スウェアリンジェン作曲、オリジナル曲の「ノベナ」でした。

オリジナル曲とは、オーケストラ用に作られた曲を吹奏楽で使えるように編曲したのではなく、吹奏楽で演奏するために作られた曲の事です。

さすが、大阪市消防音楽隊を母体にした選抜メンバー、演奏はメッチャ上手。

ただ、お客さん達にとっては、全く馴染みのない曲で、

客席 **ドン引き!** です。


(会場全体に「びゅ〜〜」って、すきま風が・・・ )

演奏は上手なのに、企画としてはチョッピリ残念だなあって思っちゃいました。

(失礼な事言うんじゃない!(。)\バシッ☆\バシッ☆\バシッ☆)

3曲目はバリー・マニロウのヒット曲「コパカバーナ」。

これも超有名ですね。

ラテンフィール  でガラッと空気も変わった気がします。

(暑い時はラテンだよね〜。暑い時に **ドン** っと重いのはチョット(*_*)

最後は、もっともっと有名「グレンミラーメドレー」。

茶色の小瓶〜イン・ザ・ムード〜タキシード・ジャンクション〜

アメリカン・パトロールそしてムーンライト・セレナーデで

シットリ終わるメドレーでした。

演奏が終わって奏者は全員立ち上がり、指揮者がお辞儀します。

昨年までは自分もあそこに居たんだよな〜って緞帳が下るのを見ていました。

前にもお話しましたが、大阪市消防音楽隊は今年度で廃止です。

いろんな思いに、なんとも言えない気持ちになりました。

来年からは堺市高石市消防組合消防音楽隊が大阪府下の中心となってくれると思います。

休止中の自分たちには祈る以外に何も出来ません。

チ〜ン

(違う!(。)\バシッ☆\バシッ☆\バシッ☆\バシッ☆)

第2部「大阪の消防大賞」表彰式です。

ファイアーファイター達の苦勞を顕彰し、さらに防火、防災の意識を高揚を図る事を目的にされています。

今年度は

○消防職員の部

- ・守口市門真市消防組合特別救助隊3名
- ・泉佐野市消防本部りんくう消防署救急隊3名
- ・柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部予防課10名

○消防団員の部

- ・松原市消防団143名

○特別賞として

- ・尼崎市のJR福知山線で脱線事故に出動した
緊急消防援助隊大阪府隊9本部66隊238名

でした。

皆さん受賞おめでとうございます。

第2部の最後に受賞者代表で柏原羽曳野藤井寺消防組合予防課長が謝辞を述べるのですが、舞台上に居る時点から相当緊張気味に見えます。

客席で見てるこっちが肩凝りそうです。

「それでは、受賞者を代表して頂き・・・」

司会者から紹介され舞台中央のマイクへ。

最近のロボット技術はとても進んでいます、

今日の予防課長は昭和時代のロボットの様な歩き方。

ゼンマイ仕掛けのおもちゃのロボットみたいです。

挨拶の原稿を取り出しマイクに向かうのですが、気合が入り過ぎなのでしょうか、

全身ガッチガチ

「頑張れ！」と思ってもこっちも息苦しくなります。

受賞者代表謝辞が無事終わって、「ハア～」と私が脱力してしまいました。

(疲れた(+o+))

他本部の音楽隊の人達とふれあい、

現在、自主活動のみの柏原羽曳野藤井寺消防組合消防音楽隊ですが、

必ずここに帰って来る！と思いを新たにしました。



ガンバレ、消防音楽隊！ 第86話

いつも勝手な事ばかり書いていて恥ずかしいやら申し訳ないやら。
反省しなければと思いつつも、結局は自分勝手な文章になってしまいます。
反省しても効果ないので、駄文を気にしながらも今月も開き直って。φ(∧-∧)ノ

昨今の、特に中高生の皆さんを取り巻く「楽器演奏事情」はどうなっているのか最近気になっています。

ギターを持った学生姿を見る事も随分減ったように感じるし、飲み会の帰りなどには、駅前で弾き語りをしている人を見かけますが、その新鮮さも少し薄らいでしまったような。

元々、バンドを組んで演奏するアーティストの絶対数は多くないとは思いますが、今でも「Queen」や「Deep Purple」の曲がTVCFでも多用されている事を思うと、彼らを超えるヒットメーカーが出ていないのかとも感じます。

逆に言うと彼らの偉大さの証であろうと。

レディースに関しては、「PRINCESS PRINCESS」や「SHOW-YA」と言う、女性だけのバンドがブレイクして、巷には一気にレディースバンドが急増した時期がありました。

練習スタジオにも、ちっちゃな背丈にギターを背負った女の子達が珍しくなかったです。(どっちが背負られているのか分かんないような。)

私自身はあまりレディースバンドの演奏を聴く機会はなかったもので、今から思えばとても残念です。

(以前、複数のバンドが出るイベントに出た際、出演時間が繰り上がったかなんかで急に時間が無くなり、仕方なく近くにあったトイレに飛び込んで着替えていたら、なぜか女の子達の声。着替えを終え出てきた私の姿を見て彼女達はキョトン。「間違えてるよ!」と注意したら、一瞬の静寂の後、大爆笑されてしまいました。良く見渡すと間違えていたのは慌てて入った私の方。メチャメチャ恥ずかしい思いをしました。良く見もせず手前が「紳士用」と勘違いしたのが失敗。

しかも、出演前の舞台袖でさっきの彼女達と一緒にになり、また「クスクス」と笑われ、もう逃げ出したい気持ちでした。その日の演奏は何も思い出せません。

今思い出しても恥ずかしい～(>_<)赤面)

音を奏でる素晴らしさや、もしバンドであれば、演奏中のアイコンタクトや演奏のフォローをしよう事の楽しさ、バンド運営の難しさ等、仲良しこよしとは違った意味でのチームワークも含めて、「楽器演奏」に沢山の人が感心を持ってくれれば嬉しいと思います。

(「心地よい」と感じる種類が違うだけで「スポーツ」にも「学問」にも通じるような気がするんですが、ちょっと大げさかな?)

そんな意味でも、とんでもない影響力を持っているミュージックシーンにバンドが増えて、もっとバンドが流行って、男女の区別無く音楽演奏人間が増殖してくれればいいなあ

なんて思っちゃいます。

先月に **TV** 放送された「映画スイングガールズ」の影響で、練習中でも「スイングガールズ」の話が頻繁に出ます。封切の時も、DVD 発売の時も、CD も、隊員には紹介していたのですが、やはり「**TVはスゴイ!**」と実感させられてしまいます。

(私もまた見てしまいました(^-^;)。映画ってなんで TV だと何回も見てしまうのでしょうか? どなたか教えてください。あて先は: kasisyou@khf119-osaka.jp 「ガンバレ、消防音楽隊!」係まで。)

昨年までは「ルパンⅢ」のスイングバージョンや「イン・ザ・ムード」等を演奏していましたが、音楽隊が今練習している曲は、「Sing Sing Sing」と「A列車で行こう」です。

思いっきり「スイングガールズ」の影響を受けてますよね(^-^)

この2曲も昨年提案したのですが、その時は、

「無理、無理。」

って、皆に逃げられてしまいました

ε=ε=┌(・__・)┐┌(・__・)┐

ところが今回は、

「この曲しようや。」

って、隊員から自然に出た選曲です。

勿論、隊員達がスイングを得意にしている訳ではありませんし、

私が強要している訳でもありませんが、折角の機会なので、

「ホンマにやんの?(-.-)」

と言いながらも、

内心は「へへへっ、思うツボ」と思いながら、

少しずつ進めています。

(ホカク (*┐┌) ───C<┌(・__・)┐)

どんな感じかを確認出来るように携帯電話に曲をダウンロードして聴いている隊員もおります。

(練習中に急に鳴らすからビックリしますが・・・)

ただソロが多い曲ですので、サクソやトランペットの隊員からは、同じ編曲の演奏が手に入らないようで、

「楽譜と同じ演奏ないの〜?(T_T)」

と嘆きも聞こえてきます。

公式活動休止中の音楽隊ですので、今、全く「出番」のない私達には、

目標がありません。

でも、チャレンジする目標も必要です。発表する場も必要、
実感出来る成長も必要です。

いつ完全再開になるかも決まっていません。

しかし、決して諦めてないです。

チャンスがあれば、どこかで演奏したいと虎視眈々に狙っています。

ただ、演奏能力が伴わないだけです。

(それが大きな問題ですが(-;-))

今日もまた「スイングしようや」って言いつつ、ベタベタで跳ねない演奏しています。

(だからー、「ズーダ、ズーダ・・・」だっば!(。)\バキッ☆
やっぱりわかんないズー(ToT))

ガンバレ、消防音楽隊！ 第87話

公式活動休止で、合奏の機会が激減したおかげで、
いつも指揮をしていた私は、練習中に時間に余裕が持てるようになり、
長い間出来なかったドラムの練習が可能になりました。

ひっさしぶりに叩いてみると、さび付くどころか朽ち落ちそうな状態です。
元々たいした腕でもなかったのが、自分でも笑えるほど下手になっています。
以前には出来た事も、見事に出来なくなっています。

アハ～、情けない(～_～;)

「練習を、一日しないと自分が分かり、3日しないと他の人が分かる。」

と言われた事がありますが、
長期にしないと・・・笑われ笑うしかないですね。

MP3 プレーヤーの音を耳に、(音が鳴らない) ドラムの練習キットで
トニカク曲に合わせて叩きます。

まるで、超初心者の練習方法ですね。

MP3 プレーヤーと練習キットですから横に居ても、

「バタバタ、パタパタ」

としか聞こえないですし、「音」は分かりません。

ただ、アップから結構「激しい動き」で練習しますので、

見た目は「危ない系」です。

(練習パット一つで同じ事をする日もあるのですが、

こちらはもっと見た目が「変」。

「クレイジー系」に見られていると思います。)

でも、一番楽しい練習方法じゃないでしょうか？

お手本も、セッションのメンバーも、憧れのプレーヤーで演奏は完璧。

いつでも嫌がらずに演奏してくれますし、

こちらが間違ったり、失敗しても文句言われぬ。

って孤独なだけだったりしますが。

ここ数年は、T-SQUARE の「MEGALITH」って曲をアップの曲にしています。

自分のテンション上げるのにも最適です。

（「リリコン」を吹く姿が有名だった伊東たけし氏から
交代したサクソ奏者本田雅人氏本人の作曲で、
新生T-SQUAREの可能性を感じさせてくれた曲です。
91年に発売され、発売日に速攻で買いました。
アルバムの1曲目に収録されていて、

初めて聴いた時は、**ガツン!**と叩かれたほどの**衝撃**を感じ、

正直「鳥肌もの」だった事を憶えています。

もう15年も前の曲なんですね〜。

私的には、**キラキラ★★★★**度は今も当時のままです。

吹奏楽の世界では「TAKARAJIMA」、「オーメンズ・オブ・ラブ」、
そしてF-1グランプリのメインテーマ曲で有名な「TRUTH」と、
T-SQUAREはお馴染みのグループですね。)

実は私はドラムに関してほとんど教えてもらった事はありません。

正確に言うと初めてから10年以上は独学我流です。

気に入った曲を聴きながら、どうにかコピーしていくと言う繰り返しでしたが、
その方法ではドンドン自分に都合良く曲を「アレンジ」してしまいますし、
苦手分野は避け、得手不得手が明確に出来上がってしまいます。

勿論、練習方法としては**極めて非効率で遠回り**です。

そこで社会人になってから一念発起。

更なる上達を目指して(?)1年間ほどプロのプレイヤーに指導してもらいました。

知人に紹介と連絡をお願いし、どんな「先生」かも知らないで、いきなり練習スタジオへ。

先生はまだ来てないみたいです。

(顔も知らないし、電話もした事ないので声も分かりません(^^))
スタジオの外に、小柄で、**茶髪**でチョット強めのカーリーヘアを肩まで伸ばし、
真っ赤なジャケットとジーンズ姿の人が私に背を向けて立っています。

「ん?女の人??」

と、無関係だと思ってたら、

急に「女の人」が振り返りました。

細い目に口ひげ！って男かよっ！

「レッスンの人？」と尋ねられ

ゲ！先生かよっ！！

一度の対面で二度ビックリ(@_@)

(思わず「ち、違います。」と答えそうでした。

ミュージシャンとしては「普通」(?)の服装だったのでしょうか・・・)

とりあえず演奏力を見てもらい、これからの予定を互いに調整して初日は終了。

が、この「先生」、練習日を忘れててスタジオに来ないは、

二日酔いで寝坊し遅刻してくるはで、

「生徒が来てても先生が来てない。」

と、スタジオのスタッフによく笑われました。

何しに来たのか分からない状態で、一人で練習して帰ることもしばしば。

練習には来ないで、

(オイ、まだ昼間だぞ！って時間に)

「今、呑んでるから。」

って居酒屋さんに呼び出された事もありました。

「先生、今日練習日だったんですけど。」

「あっ、そうだったっけか??」

なんて言いつつ、

結局一緒に呑んだんですけど。

(^_^)／□☆□＼(^_^)

(普通、そんなだと「先生」としては、やっていけないとは思いますが(-_-)

なににつけ、いい加減と言うか、キッチリしたところが無かった「先生」でした。)

当時頻繁に流れていたTVコマーシャルについて、

「〇〇〇のCM曲、俺が叩いてるねんで〜。」

とかも話していました。

(内心(;一_一)ホンマ〜?? と思いつつ、ツッコミも入れずに聞き流していました。)

確かにドラムは上手でしたけど、今考えると、正体不明の怪しい東洋人って感じです。

どこからともなく来て、どこかへ去っていくのですが、少しは季節に合わせて服も変わ

っていた事から、一応生活は出来ていたのでしょうね。

結局ナニを習ったのか今でもよく分かりません。

教える事を専門にしている先生ではなく、

関西のミュージシャンって言うポジションで活動していた「先生」でしたので、

致し方ないとは思いますが、別に腹も立たなかったと記憶しています。

(憎めないキャラの「先生」でしたが、その後、風の頼りも一度も耳にしません(^-^);)

そんな事もあったなあ〜と思いつつも、私の「芸暦」だけが延びてしまっています。

先日の練習日、もうそろそろ終わりって言う時間に、

「曲合わせるから、ちょっとドラムやって。」

と言われ、急に合奏になりました。

その時も、汗かきかき (∩▽∩;;;A

かなりテンション上がった状態でしたので、

努めて「冷静」に合奏に加わったのですが、

1曲終わったとたん、

「早い！」

「早すぎや！！どこやってるか分かれへん(´-`-)」

とブーイング。(ブーブーコール)

「(気を遣い、皆に合わせて)遅く叩いたのに(+o+)」

やっぱり独りでMP3プレーヤーと練習キットの練習の方が気楽です。

ガンバレ、消防音楽隊！ 第88話

11月12日日曜日、
前日から四日市に宿泊していたのですが、
午前中に所用品を済ませ特急に飛び乗り一路茨木市へ。

特急電車内で、
四日市駅で見つけた「**松坂牛で作ったカレーパン**」の昼食にかぶりつきます。
腰のあるスパイシーな味覚で実にウンマイ(☆v☆)ヤバイっす。
この二日間で最も予想外な収穫でした。
もう一個買ってよかったかなあ(^^ゞ)

伊賀神戸で乗り換え、
鶴橋で乗り換え、
大阪で乗り換え、
茨木駅でタクシーに乗り
茨木市立生涯学習センターに到着。

今日は、ここの「きらめきホール」で、
大変お世話になっている

茨木消防音楽隊の発足25周年記念演奏会が行われているのです。

既に、開演時間を過ぎています。
(出来るだけ頑張ったのだけど・・・(ToT))

やっと到着しましたが、ホールは2階みたいです。
階段をキャリーケース持ち上げながら上がり、受付へ。

「もう、満員ですので、立ち見になります。」

「はい。」(満員やねんやあ～。)

「そちらから階段で上の階へ上がって下さい。」

(入り口は3階。また階段です(>_<))

「クロークとかはないですね？」

「(キッパリ) ありません。」

プログラムを頂いて、再びキャリーケースを持ち上げ階段です。

ヨイショ、ヨイショッ。

(四日市から、演奏聞ける場所までなかなか着きませんね。)

ホール入り口の扉を開けた所から人が立っています。

(アカン、荷物もあるし、入れない(;o;))

一旦ホールを出て、廊下をグルッと反対側の扉まで移動します。

今度は、なんとかホールの中に入れました。

超満員です。

もう既に3曲目の演奏に入っています。

オ——、上手！

大変立派な演奏です。(流石、お見事！)

反響板と雛壇があれば、もっと綺麗な音で聴けたのに、とっても残念です。

(上手な演奏だから、余計にモッタイナイ。)

曲の演奏の合間に、ホール内の階段通路に腰掛けました。

(なんか、この瞬間までスngoイ遠かった。)

見渡すとお客さんは老若男女。

とても幅広い年代層です。

「となりのトトロ・メドレー」、「もののけ姫メドレー」と
宮崎駿監督映画の主題歌2曲が続きます。

「トトロ」は幼児層向けのプログラムだと思われませんが、

「もののけ姫」は公開当時から大人で映画館がイッパイになった話題作でしたね。

妖しい、物悲しい雰囲気が、

茨木市消防音楽隊の繊細かつダイナミックスの効いた演奏で、
表情豊かに表現されています。

(上手である事って、すぐ分かりますよね。

スポーツも、文章も、歌も、絵も。

一瞬でレベルの違いって感じる事があります。

上手な人がやるとメチャメチャ簡単そうに見えるので、

もしかしたら自分でも出来るんちゃうかなあって、

背伸びしてプロモデルとかカスタムモデルとかを買って少し練習したりしますが、

上手な人達は、

我々の見えないところでスngoイ努力をした結果でその力を獲得したっていう事を、
出費の後に自分の**大きな勘違い**を知るんですよね。

本当にメーカーの思うままの**愚かな消費者**って感じです。)

次は、「ミッドナイト・ユーフォニアム」という、

ユーフォニューム奏者のソロ演奏曲です。

これも、とても上手。

(拍手パチパチパチ)

しっとりとした「ミッドナイト」な感じが良く出ています。

(題名のように「真夜中」に吹かれると困るけど。)

次は、「グレンミラー・メドレー」と「シング・シング・シング」で
怒涛のエンディングへなだれ込むって感じです。

シッカリしたバンドの演奏ってこんな事を言うんだろなあ〜
って思いながら聴いていました。

(うちも、今年**発足20周年**なんですよ〜。ただ公務活動休止中だけどね。(^-^;))

アンコールは、お約束の「ハロー・ファイアーマン」でした。

終演後、ホールを出たところで、茨木市消防本部の次長さんにご挨拶。

この方、茨木市消防音楽隊の創設者で、

これまで私が最もお世話になった方のお一人です。

切れ者で府下消防音楽隊の「ご意見番」って感じの存在です。

とても気さくなお人柄で、今もご指導を頂戴している状態です。

茨木市消防音楽隊のお見送りを受けて、

キャリーケースを引きながら会場を後にします。がたがた…。

途中まで大東市消防音楽隊の楽長さんと一緒でした。

この方も、これまで私が最もお世話になった方のお一人、

温和なお人柄、しかも努力家、人望も厚い方です。

元々はドラマーだったのですが、今はトランペッターとして演奏されています。

大東市消防音楽隊は、昭和42年11月、大阪府下で一番早く、

ラッパ隊として発足し、

その後ブラスバンド編成に変更して、

平成17年4月からは

全国初の「市民参加型」音楽隊、「大東市消防音楽隊W ' i n g s 」として

生まれ変わり運営されています。

(主な消防音楽隊の発足は、

東京消防庁 : 昭和24年 7月、
横浜市 : 昭和33年 8月、
名古屋市 : 昭和33年12月、
神戸市 : 昭和27年11月、
京都市 : 昭和30年12月、
大阪市 : 昭和44年 4月です。

大阪府は遅い事が分かりますね。

久々に「昭和」ってイッパイ打ちました(^-^);

市民参加型消防音楽隊の運営はとても順調のようで、
演奏広報活動がとても楽しいと話しておられました。

大東市消防音楽隊は「先見の明」があったという証拠でしょうね。

この日の午前中も「本番演奏」の後、そのまま茨木市へ来られたとまで話で、
「時間なくて、今日、昼食べてませんねん。」

って。

(オイオイバ(^-^);ハリキリ過ぎちゃいますのん?)

「松坂牛で作ったカレーパン」美味しかったで～～♥

と言いかけたけど、やめときました(^^ゞ

ガンバレ、消防音楽隊！ 第89話

寒くなって、気忙しい季節となりました。急に寒くなったので余計寒さを感じますね。この時期になると、来年度予算作成と年末警戒そして年頭恒例の消防出初式の準備に追われます。

公式活動休止のため、今年初めて、出初式で演奏しなかった音楽隊員達は、その『楽』を知ってしまいました。

「演奏しないのって寂しいですね。」

って話していた音楽隊員も、出初式が終わってからは、

「演奏しない出初式ってこんなに『楽』なんですね。」って。

防寒性ゼロの演奏服着なくていい、

重い楽器運ばなくてよい、

パレードしなくていい、

神経使わない、

異常な疲れかたしない、

指先まである手袋が出来る・・・。

「長年、楽長に騙されてました。」と。

(私も同じ事してたやんか(ToT))

平成19年の消防出初式は、

事務局から羽曳野市民ウインドオーケストラの皆さんに演奏を依頼し、

出演の承諾を頂いたようです。

羽曳野市民ウインドオーケストラは、

1997年5月に誉田中学校のOBを中心に「羽曳野ウインドアンサンブル」として発足、

1998年11月、羽曳野市公認の音楽団として再出発され、

2005年10月のウィーン市13区ヒーティング友好都市提携10周年記念演奏会など

多方面で活躍されています。

(参照：<http://homepage2.nifty.com/habikino-wind/>)

出初式は、ごく稀に暖かい日もある事はありますが、

真冬の河川敷で朝8時から演奏するのって、

見た目よりもずっとずっと**ハード**なんですよ。

当然楽器は冷え切ってしまいますし、

足元は霜柱、北風ぴゅ〜ぴゅ〜、小雪チラチラなんて事もありました。
(なんせ河川敷ですから。)

なかなか分かって頂けないかもしれませんが、
楽器演奏が好きな人達が集まっている『吹奏楽団』と、
広報活動を仕事として行う『音楽隊』では、
表層上、時には、同様のように見られる事もありますが、
全く性格が違います。
そもそも「目的」が違うのですから、
演奏スタイルや曲目、方向性が違うのは当たり前です。

だから、
羽曳野市民ウインドオーケストラの皆さんにはとっても気の毒だなあ〜と思っていたら、
出初式の音楽関係の打合せに私も同席させられる事になっちゃいました(>_<)

打合せに来られたのは、羽曳野市民ウインドオーケストラの吉井団長さんと
団員の植谷さん。
羽曳野市民ウインドオーケストラは「リックはびきの」と言う建物を
活動拠点としておられますが、
それは我々の消防本部のお隣です。
今まで羽曳野市民ウインドオーケストラの皆さんとは
イベント会場で一緒になる事もありましたし、
私と面識はあるような無いような、で、知らない人ではないような、
妙な距離感です。

大まかな進行表と、我々が今まで出初式で演奏していた楽譜を
事前に見てもらっておきましたが、
なんとなく不安なご様子です。
「国歌や栄誉礼とか決められた曲以外は、ご自由に選曲して頂いて結構ですよ。
難しく考えないで下さいネ。」
とお伝えしました。
「入場行進しながらの演奏は出来ません。」
「もちろん座奏で結構ですよ。」
無理もないと思います。
大概の方は歩きながら演奏する事が無いから、
もしあったとしても、とても少ないと思います。

消防や自衛隊、警察などの『制服組』は、結構パレードの仕事がありますので、歩きながら演奏する事には特に違和感もないです。

不慣れな方々が実際にパレードするとなると、演奏服から歩調や歩幅なんかも改めて合わせなければいけません。パレードの出発点と終着点の距離が離れている場合など、撤収・引き上げの段取りもすごく大変になります。
(演奏する曲は丸覚えしてはいけませんけどね。)

「当日は進行を把握している職員が張り付きでキュー出しします。」とも伝えました。

それと、
「搬入やセッティングが大変ですから、打楽器の種類が多くなるような、あまり大掛かりな曲を選ばない方が団員さんの労力軽減になると思いますよ。」
(経験上。)
「はい、そのつもりです。」

「但し、警報発令されない限り**雨天決行**です。」と伝えると

絶句(@_@)されてました。

(一般的には**絶句**しますよね。**楽器**はどうなるの～って。分かります。分かります。)

最後に、
「我々音楽隊が公式活動休止になった影響でご迷惑をおかけします。」とお詫びを申し上げます、
「我々も音楽隊復活を望んでいます。頑張ってください。」と励まして下さいました。
(ジ〜〜ン、ありがとう(;O;)うん、頑張る。)

後日、内部の出初式打合せで、
「当日の羽曳野ウインドオーケストラの担当」を私がする事になっちゃいました。
(やっぱりそうなるんや。仕方ないけど、当日の居場所ないなあ・・・(..))

数日経ってから、出初式当日に指揮をされる羽曳野ウインドオーケストラの中島さんと言う方からお電話を頂きました。
「憶えてらっしゃいますか？」
私と同じ学校の同じクラブの**OB**と言う事らしいですが、ピン！ときません。

「一緒に舞台に出た事あるかなあ？」

『ローマの松』を演奏した時に。」

「楽器は？」

「チューバです。」

「ごめん、分からないっす。」

人の名前憶えるはとっても苦手です(>_<)。

「内容を伝え聞いたんですが、イマイチよく分かりません。」

打合せた内容がうまく伝わっていないようです。

「当日は、自分が張り付く事になったから、大丈夫だよ。」

それで安心してもらえたようです。

「また分からない事あったら、直接連絡してね。」

柏原市、羽曳野市、藤井寺市、柏原羽曳野藤井寺消防組合の合同消防出初式は、

1月7日羽曳野市石川スポーツ公園で9時30分開式。

どうか晴れますように。

(くどい様ですが、**雨天決行**です。)

オマケです：今年もこのコーナーを書ける事になりましたφ(^^)ノ

ジャン!!☆年末恒例(?)

この一年間の活動をサラッと振り返るコーナー☆

(誰も何も言わないからこのままの名前で。)

◎出演内容 なし 累計出演回数 もちろん200回のまま

◎練習回数 26回

公式活動休止ですが、練習は続けているんですよ～。上達が目的ではないですけど。

年末最後の練習では、練習室の大掃除をしようって話も出ています。

今年はヒョンな事から、ネパールに行くと言う経験をしました。

出発直前まで国内情勢が安定せずヤキモキしましたが、でも行ってよかったです。

勿論無事に帰国出来たのが一番ですが。

文化の全く違う国でしたので、見聞きする事全てが驚きの連続でした。

(のら牛が街中でウロウロ。毎日停電。

タクシーも値段交渉。結構ある日本食屋。

ストリートチルドレン。交通事情などなど。カルチャーショックてんこ盛り。)

肉眼でヒマラヤ山脈を眺めるなんて、想像もしてなかった経験も出来ました。

ただ本当に遙か彼方に幽かにしか見る事が出来なかったのも、
こうなると**ハッキリクッキリバッチリ**見たいと欲が出てしまいます。
バンコクでも1泊だけしましたが、ここでもスリリングな時間を持ってました。
(通過しただけですが、バンコク最大の繁華街バツポン通りは凄かった。)
ネパールには是非もう一度行きたいと思っています。

ネパールでは首都カトマンズに滞在しただけですが、
楽器屋さんを見付けるとどうしても気になってしまいます。

習性でしょうね。

初めて見る民族楽器もあって面白かったですが、
何件かの楽器屋さんで見た管楽器やギターは、
とても日本では商品として扱ってもらえないだろうと言う代物ばかりでした。
(原型が分からないモノまでありました。)

しかし、週末の夜になればあちこちのライブハウスから演奏が聞こえてきます。

出演バンドは立派な楽器を持っていました。

楽器屋さん以外にマーケットがあるのでしょね。

ライブハウスで見たバンドのうちの一つは、驚いてしまう程上手でした。

ただ、ネパールでは生水は飲めないはずなのに、
そのライブハウスで出てきた飲み物にはなぜか

カラカラ〜ン♪と「**氷**」が入っていて、

どうしたものかと悩んでしまいました。

(嬉しいのか悲しいのか(*_*;「上澄み」をチョットづつ飲みましたけど。)

音楽だけは世界共通語です。

ネットカフェもあちこちで見かけます。

両替所も多いですが、店によって微妙にレートが違ったりしていました。

格差、耐震偽装、リスニングテスト、豪雪、TOB、アスベスト、トウランドット、カー娘、ムハンマド、
偽メール、神戸空港、骨折、盗作、駐禁、WBC、エビ、男性美容、脳トレ、パシフィカ、
メガドル、エハラ、岩盤浴、02 ビジネス、ワンセグ、廉価DVD、グリーン金利、ど根性大根、
ダ・ビッチ・コート、フェロリット、決定力不足、頭突き、ハチ王子、PSEマーク、共謀罪、飛鳥会、
エアギター、虐待、PP、ヌサン、おでん缶、blast2:MIX、DEAD MAN'S CHEST、MARRIOTT ASSOSIA、
竜巻、味噌カツ、偽ドル、新駅、ミサイル、テープ、新庄、Hot Pepper、飲酒運転、イラク撤退、
昭和天皇様、櫃まぶし、シュレッダー、石油高騰、銃撃拿捕、LEXUS、いじめ、拉致認定、
疑惑王座、mixi、予想外、出勤8日間、談合、知事逮捕、核、ポストイック、冥王星、

履修漏れ、腹巻、MNP、手羽先、美しい国、山崎、TM、復党、WII、硫黄島、
ポロウム 210、道路財源、ノロ、裏金、マゴロ、四男、スタイル、要求のデパート、

今年も色々ありました。

「不信」、「不平」に満ちた一年だと感じます。

全く実感していないのに「**好景気**」と聞くと

何故かとっても**不機嫌**になっちゃいます。

リコール関係やメーカー回収でも不信感を覚えました。

トリノ・WBC・WC・甲子園・日ハム・ドーハ・MAJOR と

アスリート達に勇気と元気をもらえた一年でもありましたね。

報道がめっきり減っている「竹島問題」「東シナ海ガス田問題」「尖閣諸島問題」

「日本人拉致問題」「北方四島問題」はその後進展していないのでしょうか？

毎年、清水寺で特大色紙に書かれる「今年の漢字」、2006 年は「**命**」になったそうです。

社会問題化した「いじめ」による「子どもの自殺」や、

相次いだ「飲酒運転」による死亡事故など、

絶たれた命、奪われた命、そして命の不安への膨らみが理由だとか。

どんどん、悪いほうへ悪いほうへ向かっているように感じます。

このスパイラルは絶対に止めなければいけません。

問題を先送りしても、根本的に解決しない限り、

問題は複雑になり、被害が大きくなる事を猛反し、止めなければ、

今後も同じ事の繰り返しです。

多くの方は「ディープ」といえば「インパクト」なのでしょうが、

「ディープ」とくると「パープル」となってしまう少しズレ気味の私ですから、

「ディープ失格！」とかの見出しを見ると一瞬「???'」となってしまいます。

「パイレーツ・オブ・ザ・カリビアン」はやっぱり面白いですよ。

第3弾も楽しみです。

(てか、2作目3作目製作は同時に決定したとか。

2作目は3作目へのフリですもんね。どうしても続きを見なければ。)

もちろん映画もいいのですが、私には曲が最高にいいです。

この曲を聴くと何かに突き進みたくなる**衝動**にかられてしまいます。

(猪突猛進？単純でしょ？)

それとともに、一生懸命に練習していたあの頃を思い出してしまうのか、

なぜかジ〜〜ンと来てしまいます(;_;

メイキングを見ると、特に「時代モノ」「水モノ」って事で、
とてつもなく制作費がかかっているようですが、
もっともっと続編があってもいいなあなんて思っちゃいます。

(続編が4作以上あるのは、

「リーサル・ウェポン」「スター・ウォーズ」「ロッキー」

「スタートレック」「13日の金曜日」ぐらいでしょうか?)

しかし、続編が出来る映画でも、絶対第1作目が**一番**面白いんですよ。

まー、当たり前っちゃ、当たり前ですがね。

神保彰さんには、いつも無理を聞いてもらって申し訳ありません。m(._.)m

「世界の神保」と賞賛されている偉大なアーティストなのに、
毎回嫌な表情ひとつせず、対応して頂き、恐縮しきり、リスペクトしきりです。

音楽隊を「陰」となってバックアップしてくれている大勢の皆さん、
ありがとうございます。

「公式活動休止」ではありますが、**完全復活**に備えて練習は継続しています。

これも、皆さんの暖かい応援のおかげと、心から感謝致しております。

次号はいよいよ第90話です。

(すんげー(@_@))

こうなったら100話達成まで頑張っちゃおうぞ!

(オー!)

150話にも届きそうだ!

(オー!オー!!)

いっそ200話まで突っ走るか。

(オー!オー!!!って無理無理バ(^-^;))

私個人的には、目標を探し求める一年でした。

それでは皆さん、

MERRY X'MAS & HAPPY NEW YEAR !

KASHIWARA HABIKINO FUJIIDERA FIRE PROTECTION DISTRICT

(FIRE MAN'S BAND Conductor & Drum Major)

Wishing you the best

BATTALION CHIEF **Y O S H I F U M I K A W A I**

ご意見、ご感想は、

kasisyo@khf119-osaka.jpまで

メール下さいますようお願い致します。m (_) m

